

学校じまんガイドツアー ～
受け身でわが校を案内しよう～

Class_____ No._____ Name_____

 **今日のゴール**

受け身（be動詞＋過去分詞）を使って、わが校の「じまんスポット・じまんのモノ」をガイドツアー風に紹介しよう。

STEP 1 お手本を読んで、声に出してまねしよう。

Welcome to our school! This is the art room.
These pictures **were painted** by the art club.
This room **is used** for club activities every day.
Our school **was built** in 1985, and it **is loved** by everyone.
▼ ツアーの締め
That's all for today. Thank you for joining our tour!

今のこと（使われている・愛されている）は is / are、歴史（建てられた・かかれた）は was / were。ガイドの説明は「モノが主語」になるから、受け身がいちばん自然に働く場面。

STEP 2 使える表現（この中から選んで使おう）

This is ～. ～ is used by ～ was built in ～ were made by ～ is loved by

It is called ～. You can see ～.

STEP 3 案内する「じまん」を2つ選んでメモしよう（場所・モノ・行事、なんでもOK）。

じまん	何？（英語のメモでOK）	だれに使われている？ 愛されている？ いつ作られた？
①		
②		

STEP 4 ガイドの台本を書こう（あいさつ → じまん① → じまん② → 締めのひとこと）。

✓ お手本と表現バンクを見ながらでOK。まちがいを恐れず、まず書いてみよう。

学校じまんガイドツアー ～ 受け身でわが校を案内しよう～ 【つたえる・ふりかえる】

Class_____ No._____ Name_____

STEP 5 グループでガイドツアーをして、「行ってみたくなったガイド」を選ぼう。

できたらチェック：

- ☐ ① グループ内で1人ずつガイド役（聞く人はツアー客になりきってリアクション）
☐ ② ツアー客は1人1つ質問する（When was it built? / Who is it used by? など）
☐ ③ 全員が終わったら「行ってみたくなったガイド」に投票する
☐ ④ 代表がクラス全体でもう一度ガイドする

自己評価 できたところに ○ をつけよう（正直に！）

ふりかえりの観点	◎ よくできた	○ できた	△ もう少し
① 内容 言いたいことが相手に伝わった			
② 正確さ 習った表現を正しく使えた			
③ 流暢さ あまり止まらずに言えた			
④ 態度 相手を見て、聞こえる声で言えた			

ふりかえり 次はどうしたい？ できるようになったこと・次の目標を1つ書こう。

☆発展チャレンジ！ クイズ形式にしてみよう。Was this piano used by a famous musician? のように受け身の疑問文で「ホント？ウソ？」クイズを1問足すと、ツアーがぐっと盛り上がる！

先生へ（この教材のねらいと進め方）

ねらい：受け身が最も自然に働く「モノ主語の説明」を、校内ガイドという必然のある場面で運用させる。導入・定着ドリル（ss2-passive-drill）の次に置く応用の1枚。

進め方：STEP1でモデルを役割音読 → STEP3でじまん選び → STEP4で台本 → STEP5でグループツアー→投票→代表ガイド。

見取り：be動詞の時制（is/was）を場面で選んでいるか／過去分詞の形／ツアー客の質問（受け身の疑問文の語順）。評価は裏面の4観点で。